

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	GrammarⅡ		（ NCR12T ）
講義名（コード）	GrammarⅡ		（ NCR12TX ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	高野 恵	時間数	30
成績評価教員	高野 恵	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	文法を理解することにより読解や会話での表現の幅を広げる。
全体の内容と概要	文章の構成、品詞の役割を学び、練習問題や会話練習を通して実際に使えるようにする。
授業時間外の学修	復習として練習問題を解く。また、音読練習をしてスムーズに口からできるようにする。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	さまざまな助動詞を理解し使いこなせるようになる3	それぞれの助動詞の意味を理解し会話で使えるように練習する。
2	Would you like…? /I'd rather+Vの文を使いこなせるようになる	Would you like…? /I'd rather+Vを理解し会話で使えるように練習する。
3	命令文/there +be動詞構文を理解できるようになる	命令文/there +be動詞構文を理解し会話で使えるように練習する。
4	天気などに使うit/不可疑問を使いこなせるようになる	天気などに使うit/不可疑問を理解し会話で使えるように練習する。
5	so am I/neither do Iを使いこなせるようになる	so am I/neither do Iを理解し会話で使えるように練習する。
6	否定文・疑問文を作れるようになる	否定文・疑問文を作り練習する。
7	疑問文の作り方を習得できるようになる2	疑問文を作り練習する。
8	疑問文の作り方を習得できるようになる3	疑問文を作り練習する。
9	間接疑問文を理解できるようになる	間接疑問文の作り方を理解し会話で使えるように練習する。
10	不定詞と動名詞を理解できるようになる	不定詞・動名詞を理解し会話で使えるように練習する。
11	不定詞(目的) /goフレーズを使いこなせるようになる	不定詞(目的) /goフレーズを理解し会話で使えるように練習する。
12	第1文型～第5文型がある"get"を使いこなせるようになる	getを会話で使いこなせるように練習する。
13	総復習	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テストF B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	マーフィーのケンブリッジ英文法 （初級編）
参考文献・資料等	Evergreen
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Listening Drill II		（ NCR13E ）
講義名（コード）	Listening Drill II		（ NCR13EX ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	DavidA. Robbins	時間数	30
成績評価教員	DavidA. Robbins	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	The goal of the class is to have a clear and easy understanding of basic English conversation.
全体の内容と概要	We will be using a textbook, audio-book and multimedia to expose the student to a variety of English topics, levels and accents
授業時間外の学修	I don't expect them to do homework but they will have the option of doing research out of class in improve their knowledge. I will provide them time in class to research when needed.
履修上の注意事項等	During lecture and discussion times, they will be expected to leave their phones on top of their desks. During research and study times, they will be allowed to use their smartphones as study tools.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Learn a self introduction and how to ask questions for understanding	Introductions, Orientation & B.P.U.s
2	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #1 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
3	Can recognize and use verbal contractions	Understanding and Using Contractions, Unit 1 pp.6-9
4	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #2 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
5	Learning the proper usage of prepositions	Prepositional usage and phrases, Unit 2 pp.10-13
6	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #3 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
7	Able to use the verb 'Do' correctly in its tense form	Using What, How and Why Questions and Answering Them, Unit 3 pp.14-17
8	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #4 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
9	Able to use the verb 'Have' correctly in its tense form	Phrases Using Possession and Verb Phrases, Unit 4 pp.18-21
10	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #5 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
11	Able to use the verb 'Get' correctly in its tense form	Sentences Using the Verb 'Get', Unit 5 pp.22-25
12	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #6 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
13	Able to use the verb 'Give' correctly in its tense form	Breakdown of Uses for the Verb Phrases of 'Give', Unit 6 pp.26-29 & Test Review
14		Test
15		Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	'Practical Listening Skill for English Communication' by Kaibunsha Publications & 'Frog & Toad Collection' audiobook by Arnold Lobel
参考文献・資料等	N/A
備考	N/A

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Pronunciation Speaking II		（ NCR12V ）
講義名（コード）	Pronunciation Speaking II		（ NCR12VX ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	PIERCE WILLIAM TROY	時間数	30
成績評価教員	PIERCE WILLIAM TROY	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	To become comfortable speaking English in social and professional situations.
全体の内容と概要	Textbook work, group discussion sessions, and one on one conversations.
授業時間外の学修	Discussion preparation and research.
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Can identify and understand signal words and phrases.	Textbook Chapter 5. Discussion and activities using signal words to communicate specific information.
2	Can understand intonation and expression of questions.	Textbook Chapter 5. Intonation practice with specific focus on questions. Group intonation activity.
3	Can ask and follow interview questions.	Textbook Chapter 5. Create interview questions and work in groups to practice asking and answering them.
4	Can express ideas in a marketing business setting.	Textbook Chapter 6. Introduction to sales language and product marketing language.
5	Can express and understand numbers.	Textbook Chapter 6. Practice to clearly communicate numbers including fractions, decimals, and monetary values.
6	Can gather statistics and express results.	Textbook Chapter 6. Activity to conduct a survey and communicate results.
7	Can understand and discuss ideas of leadership.	Textbook Chapter 7. Study and use specific language and ideas surrounding leadership.
8	Can understand the use of verb/noun phrases.	Textbook Chapter 7. Practice using verb/noun combinations to communicate an idea in multiple ways.
9	Can communicate instructions clearly.	Textbook Chapter 7. Plan and communicate instructions for a normal daily activity.
10	Can understand expressions of emotion and feeling.	Textbook Chapter 8. Discuss the language, tone, and expressions used to communicate emotional thoughts and ideas.
11	Can understand and use simple idioms.	Textbook Chapter 8. Idiom worksheet and practice using common expressions and metaphors.
12	Can communicate emotion and feeling.	Textbook Chapter 8. Discuss personal opinions and ideals that cause emotional response.
13	Exam prep.	Final exam prep and review.
14	Final Exam.	Final exam.
15	Exam feedback.	Final exam feedback and Q&A.

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Q Skills: Listening and Speaking 1
参考文献・資料等	Worksheets, pronunciation and vocabulary materials, group project sheets.
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Reading & Vocabulary II		（ NCR12R ）
講義名（コード）	Reading & Vocabulary II		（ NCR12RX ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	高野 恵	時間数	30
成績評価教員	高野 恵	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	リーディングに必要な文法や構文、スキルを身につけながら、読解力を上げる。
全体の内容と概要	毎回違う記事を読みながら、單元ごとに必要な文法やスキルを学び、複雑な文章であっても正しく読めるようにする。
授業時間外の学修	新しい単語・フレーズを復習し、音読練習をする。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	文章から「関係代名詞」を理解できるようになる	Strange but True を「関係代名詞」を理解しながら読む。
2	文章から「話法」を理解できるようになる	Use Your Wealth to Help Peopleを「話法」を理解しながら読む。
3	効率的なリーディングを身につけることができるようになる	Whose Face Is That? を効率的に読めるようにトレーニングする。
4	スラッシュリーディングを理解できるようになる	Methane Production をスラッシュリーディングを使って読む。
5	スラッシュリーディングを身につけることができるようになる	Flexitarian Diet をスラッシュリーディングを使って読む。
6	スキミングで情報を探しながら読めるようになる	Turning Visitors into Regulars をスキミングで情報を探しながら読む練習をする。
7	スキミングで素早く読み通して趣旨をつかめるようになる	Weird and Wonderful Careersをスキミングで素早く読み通して趣旨をつかむ練習をする。
8	背景知識を活用できるようになる	背景知識を活用しながらAs She Fell, Her Mind Wandered を読む。
9	内容語と機能語を区別できるようになる	Three Simple Words Could Save Your Life を内容語と機能語を区別するための練習をする。
10	単語を分解して意味を考えることができるようになる	Hurry Up and Eatの記事から単語を分解して意味を考えることができる練習をする。
11	未知語の意味を推測できるようになる	未知語の意味を推測しながらSeasick and Exhausted を読む練習をする。
12	エッセイ構造を理解できるようになる	Looking for Life を読みながらエッセイの構造を理解する。
13	総復習	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習をする。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テスト F B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Reading Palette Red / Reading Palette Green
参考文献・資料等	The Rules英語長文問題集1
備考	なし

学校法人ISI学園 専門学校長野ビジネス外語カレッジ

2024年度 シラバス

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Reading & VocabularyⅣ		（ NCR22L ）
講義名（コード）	Reading & VocabularyⅣ		（ NCR22LX ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	高野 恵	時間数	30
成績評価教員	高野 恵	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	リーディングに必要な文法や構文、スキルを身につけながら、読解力を上げる。
全体の内容と概要	毎回違う記事を読みながら、單元ごとに必要な文法やスキルを学び、複雑な文章であっても正しく読めるようにする。
授業時間外の学修	新しい単語・フレーズを復習し、音読練習をする。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	文章から「関係代名詞」を理解できるようになる	Strange but True を「関係代名詞」を理解しながら読む。
2	文章から「話法」を理解できるようになる	Use Your Wealth to Help Peopleを「話法」を理解しながら読む。
3	効率的なリーディングを身につけることができるようになる	Whose Face Is That? を効率的に読めるようにトレーニングする。
4	スラッシュリーディングを理解できるようになる	Methane Production をスラッシュリーディングを使って読む。
5	スラッシュリーディングを身につけることができるようになる	Flexitarian Diet をスラッシュリーディングを使って読む。
6	スキミングで情報を探しながら読めるようになる	Turning Visitors into Regulars をスキミングで情報を探しながら読む練習をする。
7	スキミングで素早く読み通して趣旨をつかめるようになる	Weird and Wonderful Careersをスキミングで素早く読み通して趣旨をつかむ練習をする。
8	背景知識を活用できるようになる	背景知識を活用しながらAs She Fell, Her Mind Wandered を読む練習をする。
9	内容語と機能語を区別できるようになる	Three Simple Words Could Save Your Life を内容語と機能語を区別するための練習をする。
10	単語を分解して意味を考えることができるようになる	Hurry Up and Eatの記事から単語を分解して意味を考えることができる練習をする。
11	未知語の意味を推測できるようになる	未知語の意味を推測しながらSeasick and Exhausted を読む練習をする。
12	エッセイ構造を理解できるようになる	Looking for Life を読みながらエッセイの構造を理解する。
13	総復習	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習をする。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テスト F B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Reading Palette Red / Reading Palette Green
参考文献・資料等	The Rules英語長文問題集1
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	TOEIC対策 I		（ NKT13H ）
講義名（コード）	TOEIC対策 I B		（ NKT13HB ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	観光ホスピタリティコース / 英語キャリアコース / グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	DavidA. Robbins	時間数	30
成績評価教員	DavidA. Robbins	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	To prepare students to take the official TOEIC test.
全体の内容と概要	Using the textbook to cover all the main areas covered in TOEIC testing for both comprehension and reading. Also, discussion on TOEIC testing techniques.
授業時間外の学修	I don't expect them to do homework, but they will have the option of doing research out of class to improve their knowledge. I will provide them time in class to research when needed.
履修上の注意事項等	During lecture and discussion times, they will be expected to leave their phones on top of their desks. During research and study times they will be allowed to use their smart phones as study tools.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Knowing office vocabulary, grammar and pronunciation.	At the Office, Unit 1 Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
2	Recognizing the main idea in passages.	At the Office, Unit 1 Covering Reading and Mini-Test
3	Knowing travel vocabulary, grammar and pronunciation.	Travel, Unit 2 Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
4	Recognizing the main idea in passages.	Travel, Unit 2 Covering Reading and Mini-Test
5	Knowing shopping vocabulary, grammar and pronunciation.	Shopping, Unit 3, Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
6	Learning to skim and scan in reading	Shopping, Unit 3, Covering Reading and Mini-Test
7	Knowing banking vocabulary, grammar and pronunciation.	Banking, Unit 4 Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
8	How to make and inference when reading	Banking, Unit 4 Covering Reading and Mini-Test
9	Knowing school vocabulary, grammar and pronunciation.	College Life, Unit 5 Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
10	Learning the differences in transition words.	College Life, Unit 5 Covering Reading and Mini-Test
11	Knowing home vocabulary, grammar and pronunciation.	Around the House, Unit 6 Covering Vocabulary, Grammar and Listening Strategy
12	Recognizing misused words in reading.	Around the House, Unit 6 Covering Reading and Mini-Test
13		Test Review
14		Test
15		Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Building TOEIC Skills by Andrea Janzen, Seed Learning Inc.
参考文献・資料等	N/A
備考	N/A

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	TOEIC対策Ⅱ		（ NKT13I ）
講義名（コード）	TOEIC対策ⅡC		（ NKT13IC ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	木村 みゆき	時間数	30
成績評価教員	木村 みゆき	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	TOEICに必要な文法を理解し、語彙・Reading・listening力を高め、TOEICに備える
全体の内容と概要	TOEICによく出る語彙・フレーズ・文法・リスニングの練習問題に取り組む
授業時間外の学修	TOEICに必要な語彙を増やす
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	接尾語・接頭辞が理解できる	接尾語・接頭辞を説明した後、unit 5:part5の練習問題
2	unit5 reading の解き方が理解出来る	文法の復習後、unit5:part6/ 7 の練習問題の解き方を説明
3	listeningに慣れる	ディクテーションをし、聴きとれないパートを繰り返し聞く
4	数量詞を学び理解できる	様々な数量詞を紹介した後、unit6:part5の練習問題
5	unit6 reading の解き方を理解できる	文法の復習後、unit 6 :part6/ 7 の練習問題の解き方を説明
6	少し長めの会話を聴きとれる	長めの会話を聞く際に注意する点を学び、誰がどこで何をしたのかを的確に聴きとれるようにする
7	最上級を理解できる	比較級と最上級の違いを理解しunit7: part5の練習問題
8	unit 7reading の解き方と語彙を理解できる	文法復習後、unit 7:part 6/7を解く
9	会話のlisteningに慣れる	ショートトークを集中的に聞く練習
10	分詞の形容詞的役割を理解できる	過去分詞・現在分詞を使った後置修飾の文を理解できるようにする
11	unit8 reading の解き方を理解できる	分詞の復習とunit 8:part 6/7 の練習問題
12	listeningに慣れる	様々な状況での会話を聞く練習
13	テスト対策	復習
14	テスト	
15	テストFB	テストの解説とまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	VERY EASY TOEIC 2
参考文献・資料等	なし
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	TOEIC対策 I		（ NKT13H ）
講義名（コード）	TOEIC対策ⅢA		（ NKT23CA ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	観光ホスピタリティコース / 英語キャリアコース / グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	PIERCE WILLIAM TROY	時間数	30
成績評価教員	PIERCE WILLIAM TROY	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	To give students the knowledge, skills, and techniques necessary to succeed on the TOEIC exam.
全体の内容と概要	Textbook work, grammar and vocabulary exercises, and TOEIC practice exams.
授業時間外の学修	Vocabulary and grammar review.
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Understand sales vocabulary and gerunds.	Textbook Unit 5. Study sales and marketing vocabulary and the use of gerunds.
2	Understand important information in listening.	Textbook Unit 5. Learn to listen for location, activity, occupations, and people. Mini-Test 5.
3	Understand management vocabulary and infinitives.	Textbook Unit 6. Study office management vocabulary and the use of infinitives.
4	Understand specific information and themes.	Textbook Unit 6. Listening for topic, reasons, and times. Using phrasal verbs. Mini-Test 6.
5	Understand responsibility vocabulary & comparisons.	Textbook Unit 7. Study vocabulary dealing with roles and responsibilities, and the use of comparison.
6	Understand the use of graphics and "for".	Textbook Unit 7. Learn to use graphics during listening activities and the uses of "for". Mini-Test 7.
7	Understand business vocabulary and perfect future tense.	Textbook Unit 8. Study vocabulary dealing with running a business and the perfect future verb form.
8	Understand the use of idioms.	Textbook Unit 8. Learn to listen for idioms and to understand a text. Mini-Test 8.
9	Understand recruiting vocabulary and adverbs.	Textbook Unit 9. Study job hunting vocabulary and adverb clauses of time.
10	Understand conflict language and correct sentences.	Textbook Unit 9. Learn to listen for problems, advice and suggestions and choose correct sentences. Mini-Test 9.
11	Understand trade vocabulary and relative clauses.	Textbook Unit 10. Study stock market vocabulary and the use of relative clauses.
12	Understand the use of numbers and locations.	Textbook Unit 10. Learn to listen to number questions and find correct locations. Mini-Test 10.
13	Final Exam Part One.	TOEIC Listening Exam.
14	Final Exam Part Two.	TOEIC Reading Exam.
15	Feedback.	Final exam feedback and Q&A.

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Barrons TOEIC
参考文献・資料等	Listening audio, practice tests, and reference pages.
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Writing I		（ NKT13H ）
講義名（コード）	Writing I		（ NKT13HB ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	観光ホスピタリティコース / 英語キャリアコース / グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	DavidA. Robbins	時間数	30
成績評価教員	DavidA. Robbins	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	For students to learn to write well and in ways that are appropriate for the setting.
全体の内容と概要	Using the text as a work book, listening to lectures about writing, and discussion times to further understanding.
授業時間外の学修	I may give them homework if it seems necessary, but as much as possible we will try to complete the work in class.
履修上の注意事項等	During lecture and discussion times, they will be expected to leave their phones on top of their desks. During research and study times they will be allowed to use their smart phones as study tools.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Learning to organize information	Introductions, Orientation and Chapter 1 pp.1-8
2	Learning to research a topic into a paragraph	Grammar Hints and Writing Assignment Chapter 1 pp.8-9 & 255
3	Learning to indemnify parts of a paragraph	Presenting Information & Chapter 2 Understanding Paragraphs pp.11-13
4	Learning topic sentence techniques	Topic Sentence Guidelines, Chapter 2 pp.14-15
5	Learning to have supporting sentences agree with the topic sentence	Topic Sentence and Supporting Sentences Agreement, Chapter 2 pp.16-18
6	Learning how to conclude your paragraph smoothly	Supporting Sentences Part 2 and Concluding Sentence, Chapter 2 pp.18-20 & Paragraph Assignment Part #1
7	How to organize personal information	Paragraph Assignment, Part #2
8	Learning to write your opinions into a paragraph correctly	Paragraph Assignment, Part #3
9	How to organize paragraphs into essay format	Presenting Paragraphs in a Essay Formate & New Topic Paragraph Assignment
10	Paragraph Practice	Presentation of Paragraph and Practice, Chapter 2 pp.30
11	Learning to use time signal words in a paragraph	Organizing Information by Time Order, Chapter 3 pp.32-34 & Description Words for People
12	How to use prepositions in a time sequence paragraph	Grammar for Time Sequence Description, Chapter 3 pp.35-37
13	Organizing time sequence information into a paragraph	Time Sequence Paragraph Exercises, Chapter 3 pp.38-46 & Test Review
14		Test
15	Test Review	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Ready to Write 2, Pearson Education Inc.
参考文献・資料等	N/A
備考	N/A

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	キャリアデザインⅡ		（NKT13Q）
講義名（コード）	キャリアデザインⅡA		（NKT13QA）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	江戸 真依子	時間数	30
成績評価教員	江戸 真依子	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	・社会人として必要とされるマナーを習得する。・面接の流れを理解し、面接に向けての準備を整える。・ 志望する企業向けの履歴書を完成させる。
全体の内容と概要	・講義と演習により、面接へ向けて実践的なマナーやスキル、履歴書の記入方法を習得する。
授業時間外の学修	・自身の興味のある企業に関するリサーチ（インターンシップ含む）
履修上の注意事項等	・主体性をもって、授業に取り組む姿勢

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	後期に学ぶことを理解し、主体的に取り組むことができるようになる	【オリエンテーション】後期に学ぶこと、2回目よりニュースの発表 【演習】後期学びたいことについてグループワーク、マンドラチャートの記入
2	学生時代に力を入れたことが書けるようになる	【講義】学生時代に力を入れたことについての書き方 【演習】これまでの学生生活で力を入れたことのエピソードを記入
3	内的キャリアと外的キャリアが理解できるようになる	【講義】自分の内的・外的キャリアを考える方法について 【演習】自分の内的・外的キャリアについて記入
4	未来史が作成できるようになる	【講義】死ぬまでにしたいこと、3・5・10・20・30年後の設計 【演習】死ぬまでにしたいこと、未来史の記入
5	気になる業界について調査できるようになる	【講義】業界について、業界の種類、周辺の業界について 【演習】気になる業界や周辺の業界について記入し、発表（2分/人）
6	志望する企業を選択し、分析ができるようになる	【講義】企業を選ぶ6つの視点を知り、志望する企業を選択【演習】志望する企業について、6つの視点で分析し、記入
7	競合他社について理解することができるようになる	【講義】志望する企業の競合を知り、調べる 【演習】競合他社について調べ、発表（2分/人）
8	志望する企業への志望動機が書けるようになる	【講義】志望動機の記入のポイント 【演習】志望動機の記入
9	履歴書の書き方を理解し、記入できるようになる	【講義】記入方法やポイントについて、エントリーシートとは 【演習】志望企業向け履歴書作成、提出
10	履歴書を完成させることができるようになる	【講義】訂正ポイント説明 【演習】志望企業向け履歴書訂正、提出
11	面接の基本が理解できるようになる	【講義】面接の基本、マナー 【演習】学生同士で練習/個別面談
12	面接のテクニックを習得できるようになる①	【講義】実際にあった面接の質問例の紹介 【演習】質問例の回答を記入/個別面談
13	面接のテクニックを習得できるようになる②	【演習】質問例を活用し、学生同士で面接の練習/個別面談
14	後期試験	【試験】選択・記述式(100点)
15	フィードバック・まとめ	【後期試験フィードバック】試験のフィードバック、後期のまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	『留学生のための就職内定ワークブック』（一般社団法人留学生支援ネットワーク）
参考文献・資料等	適宜プリント、就活に関するニュースなどの情報シェアを行う
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	キャリアデザインⅡ		（NKT13Q）
講義名（コード）	キャリアデザインⅡH		（NKT13QH）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	江戸 真依子	時間数	30
成績評価教員	江戸 真依子	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	・社会人として必要とされるマナーを習得する。・面接の流れを理解し、面接に向けての準備を整える。・ 志望する企業向けの履歴書を完成させる。
全体の内容と概要	・講義と演習により、面接へ向けて実践的なマナーやスキル、履歴書の記入方法を習得する。
授業時間外の学修	・自身の興味のある企業に関するリサーチ（インターンシップ含む）
履修上の注意事項等	・主体性をもって、授業に取り組む姿勢

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	後期に学ぶことを理解し、主体的に取り組むことができるようになる	【オリエンテーション】後期に学ぶこと、2回目よりニュースの発表 【演習】後期学びたいことについてグループワーク、マンドラチャートの記入
2	学生時代に力を入れたことが書けるようになる	【講義】学生時代に力を入れたことについての書き方 【演習】これまでの学生生活で力を入れたことのエピソードを記入
3	自分のスキルについて、文章にすることができるようになる	【講義】好きなこと、できること、得意なことを考える。資格について考える。 【演習】自分のスキルについて記入
4	志望する業界・企業を選択し、調査ができるようになる	【講義】企業研究の進め方、業界・業種と職種 【演習】志望する業界・企業について記入
5	競合他社について理解し、調査ができるようになる	【講義】競合他社とは 【演習】競合他社について調べ、発表（2分/人）
6	志望動機が記入できるようになる	【講義】志望動機 【演習】競合他社について調べ、発表（2分/人）
7	履歴書の書き方を理解し、記入できるようになる	【講義】記入方法やポイントについて、エントリーシートとは 【演習】志望企業向け履歴書作成、提出
8	履歴書を完成させることができるようになる	【講義】訂正ポイント説明 【演習】志望企業向け履歴書訂正、提出
9	面接の基本を理解することができるようになる	【講義】面接の種類と心構え、面接官の視点、身だしなみ、言葉遣い、 【演習】好印象を与える話し方の練習/個別面談
10	面接の流れを理解することができる	【講義】個人面接、集団面接の流れと対策、オンライン面接について 【演習】学生同士で練習/個別面談
11	実際の面接で聞かれる質問に備えることができるようになる	【講義】実際にあった面接質問例の紹介 【演習】質問例の回答を記入/個別面談
12	面接のテクニックを習得できるようになる①	【講義】面接の種類、面接での評価ポイント 【演習】学生同士で練習、模擬面接チェックシートに沿ってフィードバック
13	面接のテクニックを習得できるようになる②	【講義】面接の種類、面接での評価ポイント 【演習】学生同士で練習、模擬面接チェックシートに沿ってフィードバック
14	後期試験	【試験】選択・記述式(100点)
15	フィードバック、まとめ	【後期試験フィードバック】試験のフィードバック、後期のまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	日本能率協会マネジメントセンター「専門学校生のための就職内定 基本テキスト
参考文献・資料等	適宜プリント、就活に関するニュースなどの情報シェアを行う
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	スピーチⅡ		（ NCR13A ）
講義名（コード）	スピーチⅡ		（ NCR13AX ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	DavidA. Robbins	時間数	30
成績評価教員	DavidA. Robbins	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	For the students to be able to give a successful speech on a variety of subjects. They will learn how to gather information on the topic, organize into a speech form and deliver it in a professional way.
全体の内容と概要	Using references from various textbooks and handouts on technics to a speech, lectures from the teacher, discussion time and provided time in class for research needed to do their speeches.
授業時間外の学修	I don't expect them to do homework but they will have the option of doing research out of class in improve their knowledge. I will provide them time in class to research when needed.
履修上の注意事項等	During lecture and discussion times, they will be expected to leave their phones on top of their desks. During research and study times, they will be allowed to use their smartphones as study tools.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Understanding the different types of communications in a language	Orientation and Introductions
2	Learning the different types of presentation speeches: impromptu, informative, persuasive and	Handouts on Speech types and examples.
3	Evaluating the different aspects of your listeners	Handouts on audience and lecture
4	Learn basic outline organization for all types of speeches.	Handouts on Outlining a speech and information gathering.
5	Learning the Do's and Don'ts of Body language doing a speech	Lecture and handouts on correct body language for a speaker.
6	Learning the Do's and Don'ts of the speakers voice	Lecture and handouts on correct usage of voice issues of the speaker.
7	Doing a speech	Students will give Speech #1
8	Learning how to critique your own speech.	Lecture and Handout on refining your speech.
9	Building your vocabulary for a specific type of speech.	Lecture and Handout on Vocabulary building
10	Doing a speech	Students will give Speech #2
11	Learning technics for making your speech more interesting	Lecture and Handout on an interesting speech.
12	How to recognize and adapt your speech in progress when it isn't going well.	Lecture and Handout on saving a bad speech.
13	Preparing for the Final Speech	In class time to gather information for speeches
14	Giving Final Speech	Test
15	Discussing Test	Test Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	N/A
参考文献・資料等	N/A
備考	N/A

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	パソコン検定対策Ⅱ		（ NGM10L ）
講義名（コード）	ビジネスコンピューティングⅡH		（ NKT13MH ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	竹内 玲子	時間数	30
成績評価教員	竹内 玲子	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	表計算ソフトExcelの基本操作・機能を習得し、実務への活用方法を学習する
全体の内容と概要	テキストに沿って様々な形式の課題を作成し、基本操作を身につける 前期でWord・PowerPoint、後期でExcelを学習します
授業時間外の学修	操作環境がない学生がほとんどだと思いますので、メニューの操作方法、数式の入力など テキストや授業時配布されたプリントで復習してください
履修上の注意事項等	資格取得の意欲のある学生には、資格試験（MOS・日商PC検定）の練習もおこなっていきます

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。

	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。
--	---	------	-------------------------------

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	Excelの基本操作ができる	Excelの基礎 起動→画面構成確認 新規作成→入力方法・オートフィル練習→保存
2	表の挿入・編集ができる 合計を計算できる	表の作成 表の作成・書式設定・SUM関数
3	グラフの作成ができる	Excel グラフ作成 (グラフの種類と効果・縦棒、円グラフの作成・書式の変更)
4	オートSUMボタンの関数を理解できる	オートSUMボタンの関数 (SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MIN) 学習 データよりグラフ作成
5	RANK.EQ関数で 順位づけと関数の挿入ができる	順位づけ (RANK.EQ関数) Fxボタンよりの関数の挿入・検索の仕方 相対参照と絶対参照のちがいと切り替え方法
6	ROUND・UP・DOWN関数で 端数処理の意味を理解できる	ROUND・ROUNDUP・ROUNDDOWN関数のちがいと桁数の設定
7	条件判定と比較演算子の意味を理解できる	IF関数を使った条件判定の入力の仕方、比較演算子の意味と使い方
8	関数のネスト方法を理解できる	3つ以上の条件判定、関数のネストの入力方法
9	VLOOKUP関数を活用した 効率的な処理方法を理解できる	VLOOKUP関数の構造と使用方法
10	表検索入力の方法を理解できる	VLOOKUP関数とHLOOKUP関数のちがい
11	並べ替えとフィルター データの検索と抽出を理解できる	並べ替えの設定方法・フィルターの設定と抽出
12	条件付き書式とテーブル機能 視覚的なデータの把握と管理できる	カラースケール・データバー・アイコンセット他の条件付き書式の設定 テーブルの作成と機能の利用方法
13	ピボットテーブルの作成 機能を使ったデータ集計ができる	ピボットテーブルの作成・データの集計の変更方法
14	まとめと解説	期末テスト
15	まとめと解説	テストFB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	30時間でマスター Office2021
参考文献・資料等	各問題集からの練習問題・プリント
備考	レベルに応じた資格試験の練習問題